yamada

Doc.No.	900035-02
改　訂	2004-7

取扱説明書

OP-3 型　オイルサービスセット

MODEL NO. 880167 OP-3（P 付）
880162 OP-3（P ナシ）

880167　OP-3

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解して下さい。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願して、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。

この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。

特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。

尚、ご使用中に不明な点、不具合などがありましたら、お買上げの販売店、又は、裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

★　取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目　次

はじめに……… 1
目次……… 1
1. 使用目的……… 2
2. 警告・注意事項……… 2
3. 使用上の注意事項……… 2
4. 各部の名称……… 3
　4-1 梱包内容……… 3
5. 設置……… 3
6. 使用方法……… 4
7. 保守・点検……… 5
　7-1　故障の点検とその対策……… 5
　7-2　オイルコックの分解……… 5
　7-3　OP 型オイルサービスキャビネット構成表……… 6
8. スペック……… 6
9. 保証規定……… 背表紙

1. 使用目的

本機は、水道の蛇口をひねるといつでも水が使えるように、３種類のオイルをオイルコックの操作だけで簡単に使うことができます。オイルは、油倉庫に格納されたドラム缶から、直接、エアポンプによって配管内キャビネットまで圧送され、キャビネットのオイルコックのオイルを軽く操作するだけで、希望のオイルを必要なだけ取り出すことができます。

2. 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があることを示しています。

 注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともにに以下の絵表示を使用しています。

 この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることを表わしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

 この表示は、必ずしたがっていただく内容であることを表わしています。表示の脇には具体的な指示内用が示されています。

NOTE：作業の効率化及び機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

・使用するオイルの種類によって、発ガン物質が含まれているものもあります。オイルメーカーの取扱注事項を熟読し、注意して取り扱ってください。

・ガソリンは高揮発性の燃料です。機器の洗浄などには絶対に使用しないでください。

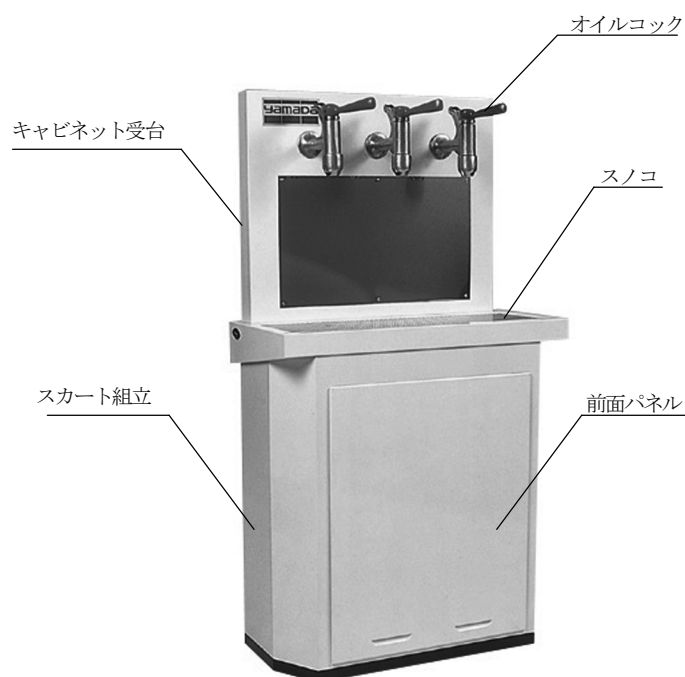
⚠ 注意

・作業終了後及び夜間・休日には、必ず本機への供給減を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めずホースに圧力がかかったまま、パッキン・ホース類も消耗により材料が漏れ施設を汚染させるなどの二次災害については使用者側の責任になります。

・本機を改造することは絶対に行わないでください。
改造しますと機体変化を起こすだけでなく、人身事故や故障を生じる恐れがあります。

・ポンプへの供給エア圧力は、0.7MPa 以下で使用してください。
これ以上の圧力での使用は、ポンプ・配管・ホース等の破損の原因となります。必ず、エアレギュレータを別途購入して、0.7MPa 以下に調整してご使用してください。

・標準の耐油ホース（製番 800864）は、DR-50A1 ポンプ用として設定されたもので、ポンプレシオの高いポンプに使用しますと、ホースの破損などにより人身事故及び物損事故が発生する恐れがありますので、圧送用ポンプを替えた場合には十分に注意してください

4. 各部の名称

4-1 梱包内容

本機は、ダンボール箱に梱包されています。
上部を開梱し、外観上のキズ・破損等が無いか各部を点検してください。
附属品が間違いなく揃っているか、確認してください。

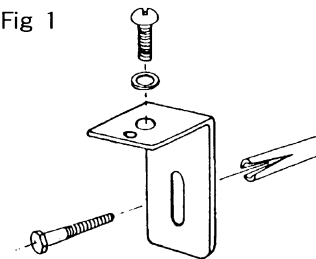
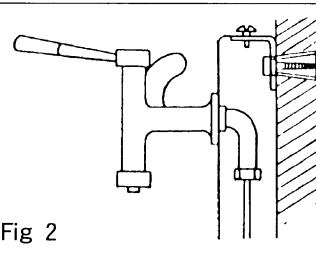
5. 設　置

⚠ 注意

・オイルサービスセットを設置する場合は、屋内の作業の最も便利な場所を選定してください。
特に、雨・風・塵芥などを蒙らない所を選んでください。

1) 本機の取り付けは、土台、又はエキスパンションボルトによって直接壁面に取り付けてください。
2) 据付工事の際は、安全な給油作業が行えるよう必ずキャビネットをアース（接地）してください。

エキスパンションボルトの取付方法

1) 現物合せの上、指定位置にφ7～φ7.5 深さ 50mm の穴をドリルであけてください。
2) エキスパンションボルト（φ8×45mm）を穴に埋め込んでください。(Fig.1)
3) パネルよりホルダーを取り出し、コーチスクリューでがっちり固定してからパネルをビスで取り付けてください。(Fig.2)

6. 使 用 方 法

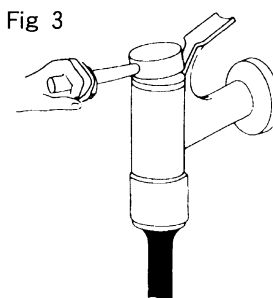
⚠ 注意

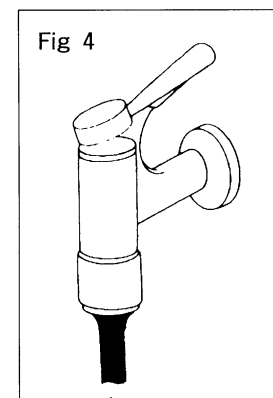
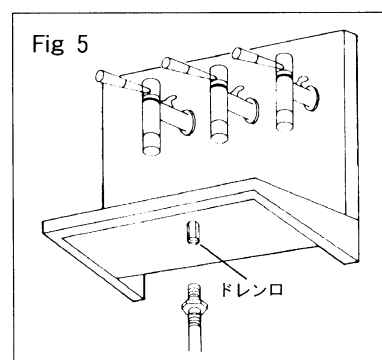
・コックを開いた状態で油の吐出具合があまり強いと跳ね返って周囲を汚染させます。
　油が跳ね返らないようにエアレギュレータで調整し、最適な使用圧力でお使いください。

・オイルコックは汚れ易いので、常に清掃に心がけてください。

・作業終了後及び夜間・休日には、必ず本機への供給源を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。
　供給源を止めずホースに圧力がかかったまま、パッキン・ホース類の磨耗により材料が漏れ施設を汚染させるなどの二次災害については使用者の責任になります。

1）各ポンプにエアを供給してください。
　（供給エア圧は、0.2～0.7MPa が適当です。）

2）オイルジョッキ又は容器をキャビネット受台に置き、オイルコックの取手を下に押すか、上に持ち上げますとコックのバルブが開いてオイルが吐出されます。
　オイルコックは水平方向にどの様な位置でも操作することができます。
　(Fig.3)

3）連続して流量を得たい場合は、取手をパネル側に廻しロックすることによってバルブは開放状態になります。(Fig.4)

4）オイルキャビネット下部のスカートは、前面パネルが簡単に取り外しができますので、内部に石油缶・オイルジョッキ・ウエス等を収納することができます。

NOTE
こぼれたオイルはオイルパンに受けられる構造となっています。
定期的にドレンプラグを緩めてオイルを抜いてください。
尚、こぼれたオイルを自動的に容器へ溜めたいときは、ドレン抜きから配管又は、ビニールホース等を接続してください。(Fig.5)

7. 保 守 ・ 点 検

7-1 故障の点検とその対策

状 況	点 検 項 目	対 策
ポンプが作動しているのに オイルが出ない場合	ドラム缶内のオイルが空になっていないか	点検・オイル補充をする
	ポンプのフートバルブ部分にゴミ等が詰まっていないか	ポンプのサクション部を分解・ 清掃する
	オイルコックの濾アミ部にゴミ等が詰まっていないか	口金をはずして清掃する
ポンプが作動しない場合	［エアがポンプまできている］ ・減圧弁の不良等で供給エア圧が不足している ・ポンプ排気口よりエアが漏れる	減圧弁を点検・交換する ポンプの切換部不良
	［エアがポンプまできていない］ ・コンプレッサーは正常か ・エア配管、フィルター部等の目詰まり	点検・修理する 点検・修理する

⚠ 注意

・機器の分解・点検を行なう場合は、必ずポンプの供給エアを止めオイルコックを開いて配管内の圧力を開放にしてから行ってください。
・分解点検は必要最小限にとどめてください。特にポンプの修理については弊社営業所又は販売店にサービスを依頼してください。

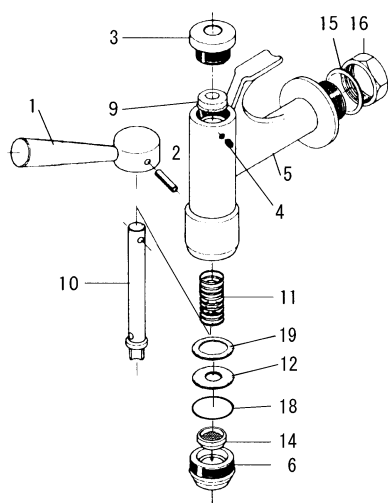
7-2 オイルコックの分解（オイルコック部品分解図参照）

オイルコックからの油漏れがある場合、下記の要領にて修理・調整を行ってください。

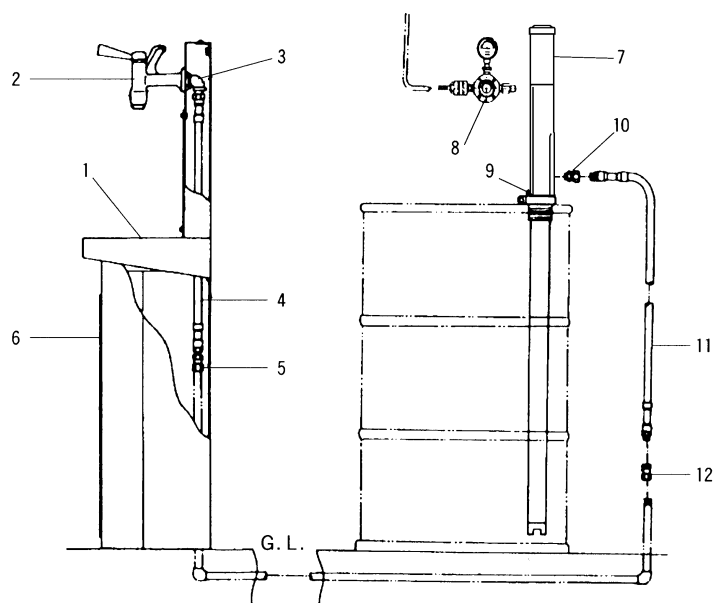
1) **コック口金からオイルだれがする場合** バルブシートとパッキンの密着が悪いために漏れるので、口金（6）部にスパナをかけねじ戻しはずし、パッキン（12）を交換してください。

2) **コック上部の取手の取付部分からオイルがにじむ場合**

取手（1）よりピン(2)を抜き、口金（6）、パッキン（12）等を外して、ロットを下へ抜き出してください。
次に、六角穴付止ねじ（4）をゆるめてパッキン押え（3）を外してください。
オイルシールパッキン（9）を交換し、分解時の逆の順序で組み立ててください。ピン（2）を差し込んだ後に、取手（1）とパッキン押え（3）との間に僅かの隙間ができるようにパッキン押え（3）を調整し、六角穴付止ねじ（4）でロックしてください。

■ オイルコック 部品分解図

■ OV-30（800594）パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	703471	取手	1
2	632821	スプリングピン	1
3	702952	パッキン押え	1
4	610014	六角穴付止ねじ	1
5	705482	本体	1
6	702954	口金	1
9	770301	パッキン	1
10	702956	ロッド	1
11	702957	スプリング	1
12	770302	パッキン	1
14	770303	漉し網	1
15	702959	座金	1
16	702960	ナット	1
18	640131	0リング	1
19	704885	座金	1

7-3. OP 型オイルサービスキャビネット構成表

No	部品番号	部品名称	員数 OP-3
1	800619	3 連キャビネット組立	1
2	800594	OV-30 オイルコック	3
3	634033	ストリートエルボ	3
4	695061	耐油ホース（0.7m）	3
5	680206	ユニオンアダプタ	3
6	800593	スカート組立	1
7	852628	ドラムポンプ組立	3
8	801241	エアレギュレータ	3
9	803488	バングアダプタ	3
10	685285	ユニオンアダプタ	3
11	695088	耐油ホース（2m）	3
12	680206	ユニオンアダプタ	3

・No.1～No.6 で 880162（OP-3 オイルサービスキャビネット）になります。

・No.3.4.5 はアッセンブリーで 800590（ホース組立）になります。

・No.10.11.12 はアッセンブリーで 800864（ホース組立）になります。

8. スペック

仕 様

形 式	寸法（mm） 全高 全幅 奥行	質量（kg）	主 な 付 属 品
880167 OP-3 （P 付）	1295×700×356	34.4	852628 ドラムポンプ ………………… 3 800864 耐油ホース ………………… 3 801241 圧力計付減圧弁 ……………… 3
880162 OP-3 （P なし）	1295×700×356	34.4	800864 耐油ホース ………………… 3 801241 圧力計付減圧弁 ……………… 3

注：質量はキャビネットホンタイのみの値です。

（参考） ドラムポンプの性能

ポンプ	ポンプレシオ	吐出量※	エア消費量※	全高	質量
852628 DR-50A1	1×1	52 L/min	460 NL/min	1270 mm	5.0 kg

※印は、下記の条件により、ポンプ吐出口での値

使用エア圧	使用オイル	油温
0.7 MPa	ビトリアオイル#32	20℃

お　願　い

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
弊社では、お納めした製品のアフターサービス徹底のため「**ご愛用者登録**」による保証制度を採用しております。
お手数をおかけいたしますが、添付の「製品保証登録 FAXシート」に必要事項をご記入の上、弊社宛にご送信下さい。
弊社にて受信後、下記記載の保証を履行させていただきます。
尚、ご送信がない場合及び記入事項に漏れ等がある場合には、保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご送信下さい。又、本制度は日本国内においてのみ有効です。

9. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より一ケ年を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、又は新品と交換させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び次の場合に該当する故障の保証については対象外とさせていただきます。

1. **保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して12ケ月間といたします。
2. **保証内容**：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. **適用除外**：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
   (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
   (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
   (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、又は溶解する様な液体を使用されて生じた故障。
   (4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって修理がなされた場合。
   (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
   (6) パッキン、Oーリング、ボール、ボールシートなどの消耗部品の摩耗。
   (7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
   (8) 火災、地震、水害、異常電圧及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
   (9) 異物の混入したグリースを使用して発生した故障。
   (10) 指定外の使用電源(電圧)使用された場合に発生した故障。
   (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
   (12) 日本国外においてご使用の場合。
   尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品並びに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。
4. **補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承下さい。

（控）

型　　式	
製造番号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

製品に対するお問合せは、下記営業所にお願いいたします。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部　〒143-8504　東京都大田区南馬込１丁目１番３号　TEL(03)3777－4101㈹
東京営業所　〒143-8504　東京都大田区南馬込１丁目１番３号　TEL(03)3777－3171㈹
大阪営業所　〒537-0025　大阪市東成区中道３丁目15番２号　TEL(06)6971－5301㈹
名古屋営業所　〒463-0052　名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号　TEL(052)795－0222㈹
福岡営業所　〒816-0088　福岡市博多区板付５丁目18番14号　TEL(092)581－5477㈹
札幌営業所　〒062-0002　札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号　TEL(011)821－0630㈹
仙台営業所　〒983-0034　仙台市宮城野区扇町２丁目２番44号　TEL(022)232－4743㈹
広島営業所　〒733-0833　広島市西区商工センター5丁目3番5号　TEL(082)278－5341㈹

相模原工場　〒229-1112　神奈川県相模原市宮下１丁目２番38号

＊本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。